



ガット

東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

9月号

コート取りは会員の義務です。
 ・今月は12月分のコート予約月です。
 間違いのないように！
 ・雨天でコート不使用の情報はノートへ！

発行責任者 松井貞二
 会長 東村山市
 住所 恩多町
 5-1-1

第7回運営委員会報告 2003. 8. 10スポーツセンター

- 会長 (松井) 特になし
 副会長 (武谷) ① 7月27日第23回市町村大会があり東村山市は昨年と同様、一部決勝で町田市に3-4で惜敗、準優勝した。
 ② 9月7日秋季大会開会式があり各クラブ5名程参加して下さい。8時30分運動公園SL前集合です。
 ③ テニス協会のメンバ登録をしたい人は各クラブ会長まで
 副会長 (川路) ① 柳杯は、予算15万円に対し支出48,109円でした。
 ② 柳杯の総括会議を各会長+実行委員で後日行う。
 会 計 (河嶋) ① 昨年度の会計未払いがあり、今年度予算で支払う
 広 報 (藤岡) ① ガットについては特になし
 ② 30周年記念誌編集はほぼ予定通り進んでいる。今の所500部印刷して現会員全員に配布の予定。
 技術部 ① 9月6日(土)技術部親善試合をJRCと行う。
 事務局 ① 未使用コート代の還付について、該当コートの許可証(卜部)と、委任状の整理を行った。
 ・委任状は数人の未収部分があるのでご協力をお願いしたい。委任状がない場合、コート代払い戻しを受けられず、損金になります。
 ・還付のための作業がとても煩雑なので今後還付方法について市と交渉してゆく予定です。
 ② コート確保率は80%~90%で、早朝の率を上げるようにしている。
 ③ 30周年記念行事の「東村山テニスキッズ体験レッスン」について東村山教育委員会後援が頂けることになった。
 ③ 8月号のガットに同封した市民テ未来像へのアンケートは、先に行った中間答申の内容確認のためのものであるので8月末までには回答下さい。
 ④ 7中草取り(8/30)は各クラブ3~6名参加下さい。
 審議事項 ① 柳杯3部の優勝カップの購入については、今後の柳杯の進め方等を議論してから決める。
 ② 30周年記念行事での「キッズレッスン」は、担当を決めて積極的に取り組む。

追 悼

美住クラブの創始者=河野好明さんに謹んで哀悼の意を表します
 さる6月9日に、美住クラブ初代会長の河野好明(享年63歳)さんが逝去されました。河野さんは、昭和52年に市民テにご夫婦で加入され、昭和54年3月に市民テ5クラブ目の新生美住クラブの誕生とともに会長に就任されました。以後、美住クラブはもとより、市民テの発展に尽力をつくされ、今日の礎を築かれました。大会ではコート脇から大きな声援を送られて、励まされたことがつい先日のように思われます。今もその声が心の奥に響いています。ここに会員の皆さんと共にご冥福を心からお祈り申し上げます。
 美住クラブ会長太田康晴

30周年記念行事計画進む！！

創立30周年の記念行事に向けて実行委員会では計画作りを鋭意すすめておりますが、概略次のように決まりました。
 日時：11月23日(日)
 場所：久米川コート 5面
 概要：テニスイベント
 ・親善試合 ・「テニスキッズ体験レッスン」・ターゲットテニス等
 パーティ(場所未定) ・記念パーティ

各クラブ練習予定
 美住クラブ 9月23日(祝)
 西武ドーム 13時~17時 3面

住所変更：萩山クラブ 宮崎弘美 住所：東村山市美住町 2-7-4 パルナス美住町P-1-205
 電話：042-309-1818
 美住クラブ 山岸容子 住所：小平市小川西町3-6-5 電話番号はそのままです

今月のコート

朝昼コート一覧(土、日、祭日)

水曜ナイターコート

	6(土)	7(日)	13(土)	14(日)	15(月)	20(土)	21(日)	23(火)	27(土)	28(日)	3	10	17	24	
7-9	×	-	C.E	久米川	B.C.D.E	×	×	B.C.D.E	D.E	A.C.E	A.B	A.B.C	A.B.C	A.B.C	
9-11	1.2.3.5	-	1.2.3.5	(硬式男WB)	久米川(女WB)	1.2.3.5	久米川(男WA)ベテラン	久米川(女WA)ベテラン	1.2.3.5	久米川(男SB)	数字は久米川コート番号 英字は恩多コート番号 ナイターは19時~21時				
11-13	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5			1.2.5			1.2.3.5		7中申し込み 美住クラブ 9月7日(日)				
13-15	2.	1.2.3.5	1.2.3	恩多(ソフト個人戦)	1.2.5	恩多(ソフト団体戦)	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5					
15-17	2.5	1.2.3.5	1.2.3.5		1.2.5		1.2.3.5								
17-18	1.2.3.5	1.2.3.5	1.2.3.5		1.2.3.5		1.2.3.5								

柳杯について

柳杯実行委員会

柳杯は、学校でいえば年1回の運動会(お祭り)であり全員が参加して楽しむ親睦の場であり市民テ

発展の1手段として生かせればと考えています。クラブ内の団結・融和を図り、クラブ間で切磋琢磨しての競い合いがお互いのレベルアップにつながり、ひいては市民テの発展につながると思います。

柳杯を、生かすも殺しも各クラブの協力がないと成果がでないことは無論です。

次に現状を書いてみたいと思います。市民テ会員290人で、一部、二部、三部で各50名が参加しています。この事は、経済的な面、日程的な面等による確保できるコート面数が限られた条件の中で出来る現実かと思われまます。試合参加者はクラブ代表の150人という事になります。残り40人の参加が出来ればベストでありこのクラスの人達が参加できる様な段取り、体制作りを検討し、実践する事がこれからの課題かと思ひます。

当然、全員参加という事は現実的ではなく、まず現状の150/290=0.5→180/290=0.6の目標を定め実践したいと考えています。

今回初めての試みとして

- ①二部制から三部制に変更・・・同じレベルでプレーする事と自分で参加してプレーする方が当然楽しめる事と考え。
- ②混合チームとして出場(4年越しに実現)・・・現状、クラブ人数が不均衡である以上混合チームの参加を考える事が将来的であると考え。
- ③開催シーズンの変更(11月→7月)・・・民間コートを極力使用しない様に現状の条件内で実施した結果。以上新しい試みは各クラブの理解と協力があれば必ず実現できる事と感じています。

私とテニス

恩多クラブ 村岡 由美子



私がテニスをはじめるきっかけとなったのは、『エースをねらえ』のおちょう

夫人に憧れ、それだけの理由で中学の時、テニス部に入部しました。学校には、テニスコートが一面しかなく、1年生の時はボール拾いとトレーニングの辛い毎日で、いつやめようかと思

っていましたが、2年生になってからはテニスらしいことができ、夢中で練習をしました。そして、全国中学校の団体戦にも出場することもできました。高校でもテニス部に入部しましたが、あまり良い成績を残すことができませんでした。

学生時代のほとんどはテニスに力を入れてきましたが、就職後は何年もテニスから離れていました。そんなある日、高校時代のテニス部OB会へ参加したところ、現在の主人と再会して現在に至っています。お蔭様で、またテニスができるようになりました。

市民テに入ってから残念ながら出産や育児でほとんど久米川コートには顔を出すことができませんが、子育てをしながら時間の取れる限り、夫婦で協力しあいテニスを楽しんでいます。水曜日のナイターではいつもいい汗を流しています。テニスの後のビールも最高です！市民大会や、団体戦では市民テの皆様や、たくさんの方に子供の面倒を見ていただき大変感謝をしております。最近では、子供たちもラケットを握りはじめ、たまにはありますが一緒にテニスのまねごと程度をし、ネット越しで数回のラリーができ、小さい子供でもラリーがつながると楽しいようです。子供たちが大きくなった時、親子ペアで試合に出場することを考えるのも最近楽しみになってきました。

生きてて良かった♪

青葉で良かった!!

～テニス in 軽井沢からビキニ in 沖縄～

恒例の青葉夏合宿が、7月26・27日、軽井沢で行われました。今年は予想外に梅雨が長引き、前日も雨。テニス合宿ではなく、寝マス合宿になる危機でしたが、誰の行いが良いのか、着いた時にはきれいに雨が上がり、予定通り9時に集合、スタートの運びになりました。もっとも、若干一台が浮かれすぎて佐久まで遊びに行きましたが・・・さて、総勢19人の夏合宿のスタートは荒牧教室でした。丁寧に、ボレーの基本からスマッシュ、サーブへとビデオ付です。ストロークまで時間を取れなかったのが心残りでした。隣のコートでは「今から教室を受けても？」と達観した人、「既に卒業した？」人が、午後のチーム対抗に向けて練習に励んでいました。

昼食をはさんで午後は長老をキャプテンとしての藤岡チームと儀間チームの対抗戦です。

ミックス・男ダブ・女ダブの組合せで、最後はキャプテン同士の「・・・の冷や水」シングルス対決で締め。結果はきれいな引き分けでした。楽しい夜、メインイベントの夜がやってきました。食事もそこそこに、先ず、ビデオを見ての品評会。もうこの辺で既に酒が効いているグループもいますが、続いて、ペンションの食堂に移って恒例の宴会、ペンションの女将さんの「あびこちゃん」の一声でビールが追加、話がおおいに盛り上がります。その時、ちょっとしたきっかけから、来年の合宿の話になり、沖縄出身のGさんが「俺に任せろ！」と言ったとか、言わないとかで、来年の合宿は沖縄開催に決定、しかも、その場に居た人のみは招待ということに決定してしまいました。それからが大変、「沖縄はビキニ」「買わなくちゃ」(想像して見て下さい)と大いに盛り上がり、冒頭の



「生きてて良かった、青葉で良かった」となるんです。

誰かが少しでもエクスキューズするとすかさず、「生きてて良かった・・・」の大合唱です。

こういう時の青葉の結束力は半端じゃないと再認識

しました。それにしても、この件だけで宴会が2時間も持つんですから・・・。

合宿二日目の朝、年のせい又は元気で目覚めの良い人は散歩、バードウォッチング。盛り上がりの余韻で食事も喉に通らない人は「ブルーハワイ」といろいろですが、空は晴。

第二部の対抗戦の開始です。この日は男ダブと女ダブ(人手不足のため若干の即席御釜を含みます)の対抗戦ということが昨夜のドサクサの内に決まっていた。なかなかの熱戦で、珍プレー、好プレーの宝庫そのもの(ビデオはありません)。結果はこれまた引き分けということで、いかにも青葉らしいという結論でした。結局、初日は9時から18時、二日目は8時から13時までと「本当にテニスが好きなんだなあ」という熱心な合宿でした。昼食後解散ということになりましたが、ペンションの女将さんの「あびこちゃん、あびこちゃん」の連発が妙に残る合宿で青葉合宿報告・広報担当岩渕

今回が、2回目の編集担当ですが、ナイターを中心に活躍の村岡さんにお忙しい中『私とテニス』を書いていただきました。さて、自分はと言えば年齢のせい所属するデザインの団体や町内会等のお役が回ってきて、なかなかラケットが握れない状態にありこれは問題です。来年までには、生活改善をしテニスも編集も腕を上げなくてはと思う今日この頃です。よろしくお願ひいたします。(恩多クラブ 栗坂)